

令和6年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	73	学校名	浜松湖東高等学校	記載者	猿田かおる
------	----	-----	----------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	自ら学ぶ習慣を育成し、確かな学力を伸長させる。	自分自身の苦手箇所を正確に把握し、自分に合った学習を進められる生徒 70%以上	B	B	進学においては、年内入試への希望が今後も多くなるので、一般選抜に対応できるような学力をつけ、知識の定着をはかるのは難しくなる。また、年内に進路決定後、学習へのモチベーション低下を防ぐ、手立てが必要になる。
	探究的な学びを推進する。	自分の最適解や納得解など考えを表現できると答える生徒 70%以上	A	A	各教科で言語活動やペアワーク、探究活動を通じて、生徒が意見をまとめて発表することに自信をつけたことは、A評価に値する。来年度、総合的な探究の時間の教材を現実的な課題にて、実際に地元の企業人と接して解決していく試みを行うことは、非常に良い。
	「時を守り、場を清め、身を正す」指導をすすめる。規範意識を醸成する。	校内における私物の管理（机上やロッカーの上等に放置しない）ができる生徒 95%以上	B	B	校内における私物の管理を95%以上の生徒ができるように、また、クラス全体、学校全体に意識が向くようにしていくために継続的・計画的な指導をお願いしたい。
		「生活面（服装・頭髪等）はしっかりしている」と答える生徒 85%以上	A	A	達成状況92%と、目標値を大きく上回ることができており、生徒アンケートでも肯定ポイントが最も高い。時と場を考えて行動できる生徒が増えており、概ね落ち着いた生活を送っていることはA評価に値する。
	生徒が主体的に将来設計できるような進路指導を推進する。	自分自身の実力を正確に把握し、自分に合った進路を決められる生徒 80%以上	A	A	2割の生徒たちが、一般選抜で自分の進みたい進路先に合格することができるかが課題である。大学入学共通テストを含め、一般選抜について1年次からの対策が必要になる。
		本校の進路指導に対して満足と感じる卒業生 90%以上	B	B	年内入試（総合型選抜・学校推薦型選抜）での受験指導について、より内容の充実を図っていただきたい。さらには、一般選抜に対応する指導への充実も合わせて

					図っていただきたい。
ア	全員が積極的に関り、主体性や社会性を育む。	部活動に積極的に取り組んでいる生徒 80%以上 ・各部活動による奉仕活動 年1回以上	B	B	多数の生徒が、県大会、東海大会、全国大会に出場し、コンクール等でも輝かしい実績を残すことができたことは、評価に値する。学びと合わせて、部活動において、校内に活気あふれさせていきたい。
		生徒会行事等は生徒自らの企画・実行により行われていると感じる生徒 80%以上	B	B	生徒会がアイデアを出しながら、行事のマナー化を防ぎ、楽しく主体的に活動できる場ができたことは、評価に値する。生徒会活動に対する関わりはこの三年ポイントが下がっているものの、学校行事については満足感を感じている生徒が多い。
	一人ひとりが、諸活動に前向きに参加し、他者との関わりの中で自己肯定的感を醸成する。	本校の教員は自分のことを認めてくれていると感じる生徒 80%以上	A	A	達成状況 82%と生徒は自分のことを認めてくれると評価している。引き続き「ほめる・認める」意識を高め、続けていきたい。 Instagramにも卒業生からお世話になった先生へのメッセージが寄せられており先生と生徒の信頼感関係は良好と推察する。
		学校に安全・安心の場があると答える生徒 80%以上	B	B	教員・カウンセラーなど丁寧に関わっているが、目標達成に至っていない。生徒同士の間関係に不安があるのではないかと。担任、学年主任、相談室担当、養護教諭など関係職員間で情報共有が丁寧に行われ、スムーズな連携が図れたことは、評価に値する。
	広い視野で物事を考えることができるよう、読書活動の充実を図る。	朝読書や授業を含め学校や家庭で読書に取り組めたと答える生徒 80%以上	B	B	長い人生のなかで様々な岐路にたったとき、また困難にぶつかったとき、より良い判断ができたこと、選択肢が増えたりすることが期待できることをPRするとよいのではないかと。 活字離れが叫ばれている現況において、読書への概念、意識の変容を図っていかねばならない項目である。効果的な読書への運用が図れるようはたらきかけていただきたい。

様式第5号

イ	研修の充実を図り、その成果を共有することで、指導力の向上を図る。	授業見学、授業改善及び学習評価の校内研修、校外研修の内容を共有し、授業で実践した教職員 70%以上	B	B	「授業内で実践した」教員の割合が、70%以上になるように、共有した内容を含め、授業内で実践できるよう、授業改善の充実を図り、授業参観ウィークなどを工夫して引き続き進めていただきたい。
	内規・各種規定の整理を行い、効果的な指導方法を検討する。	点検した内規・規定 100% 各事業の目的の明確化 100%	B	B	各内規、PTA 会則など、見直しや改訂を進め、文書事務など業務のデジタル化、スリム化に取り組むことができたことは、評価に値する。
	保護者、県民等への広報活動を充実する。	ホームページとインスタグラム更新 合計回数 年 200 回以上 行事開催の案内通知と併せたメール送信やオンライン配信の実施	A	A	Instagram は登録をしており、学校の活動の様子を拝見する。非常に面白く、学校内外に発信できている。
イ	PTA・後援会・同窓会と連携した教育環境の整備を図る。	良い環境で学習・部活動ができていると感じる生徒 70%以上	A	A	外郭団体と連携し、教員の要望等に対しては可能なものから実施するなど学習・部活動環境等の整備を進め、生徒からの評価も 75%と目標値を 5%上回ったことは、A 評価に値する。
	施設設備の充実を図る。	危険性の早期把握、迅速な対策、及び利便性の向上	B	B	危険個所の対応が遅れた場合のリスクを猛烈にアピールするなどし、予算的な問題もあろうかと推察するが、危険個所の把握、記録、迅速な応急措置等を実施して、施設設備の充実を図っていただきたい。 校舎のみならず付帯施設、樹木等の老朽化が県内各高校で見られるが、予算不足により改善されない状況が見られるが、生徒の安全のためにも一刻も早く改善されたい。
ウ	校内業務が、職員にとって過重な負担とならないよう、業務の見直しと改善を行う。	業務の見直しについて、小グループ（分掌・学年等）での検討 月 1 回以上 全体での検討 年 2 回以上	A	A	分掌会議の時間を時間割に組み込むことにより、業務見直しを図るための機会を確保し、目標値をクリアしていることは、A 評価に値する。

様式第5号

		完全退勤時刻 (20時)の遵守 各自定時退勤 (16:45) 週1回以上	A	A	職員全体や職員個人にこまめに声掛けを行い、長期休業中は定時退勤を実施でき、目標値をクリアしていることは、A評価に値する。
--	--	--	---	---	--